

南信州広域連合第8回広域連合会議 結果報告

日時：平成30年11月16日(金) 15:30～16:50

場所：県飯田合同庁舎3階 講堂

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕土屋局長

〔飯田建設事務所〕坂田所長

〔飯田保健福祉事務所〕田村副所長

〔町村会〕岡庭課長

〔飯田市企画課〕佐々木企画調整係長

〔飯田広域消防〕大藏消防次長兼総務課長、有賀警防課長

〔飯田環境センター〕北原事務長、市瀬竜水園場長、窪田管理係長、原桐林クリーンセンター及び桐林リサイクルセンター管理担当専門技査

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長・加藤次長補佐兼庶務係長・櫻井広域振興係長・秋山介護保険係長・林庶務係主事

1 開 会…15:30

2 広域連合長 挨拶

朝晩冷え込んで来ている。それぞれの皆様方におかれては風邪などひかれぬよう、インフルエンザにならないよう予防接種も考えていただくなかで、広域連合の取組にもご対応いただければと思う。

おかげさまで先日もリニアに関連したモビリティフォーラムが開催出来た。地域としてリニア三遠南信を見据えた取組ということで、それぞれ来年度予算に向けた準備や或いは国や県に向けた要望活動等、精力的な対応をいただいていると思う。広域連合としても来年度予算に向けた取組をこれから進めていければと思っている。

さっそく協議事項に入らせていただく。どうぞよろしくお願ひ申し上げる。

3 協議・報告事項

(1) 南信州広域連合議会第2回定例会について(資料No.1) 【説明者：松江事務局次長】

① 開催日 平成30年11月30日(金)

- ・付議事件9件(条例案件1件、一般案件1件、予算案件3件、決算案件4件)
- ・告示 11月6日(火)
- ・議会定例会 11月30日(金)午前10時
- ・全員協議会 定例会終了後

② 議会日程

- ・一般質問(3名を予定)

③ 付議案件について

- ・議案第15号 南信州広域連合に係る市町村の条例を準用する条例の一部を改正する条例の制定について
*産業振興と人材育成の拠点について、行政財産の目的外使用を許可する際に使用料を徴収するために飯田市の条例を準用し整備を行うもの。
- ・議案第16号 公の施設の指定管理者の指定について(南信州広域連合産業振興と人材育成の拠点)
* (公財)南信州・飯田産業センターを指定管理者としたいもの。
- ・議案第17号 平成30年度南信州広域連合一般会計補正予算(第3号)案

- *歳出 (産業振興と人材育成の拠点事業費、看護師等確保対策のための基金積立金、稲葉クリーンセンター施設改修工事、竜水園施設改修工事)
 - *歳入 (国庫補助金 (地方創生推進交付金)、稲葉クリーンセンター特別会計繰入金、し尿処理施設整備基金繰入金、純繰越金、諸収入 (交通問題協議会決算余剰金))
 - *債務負担行為 (第36回全国都市緑化信州フェア出展業務委託料)
 - ・議案第18号 平成30年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第1号)案
 - *歳出 (龍江分署施設修繕工事、大雨、台風災害対応に必要な活動資機材の強化、リニア工事対策に係る消防活動資機材の強化)
 - *歳入 (純繰越金)
 - ・議案第19号 平成30年度南信州広域連合稲葉クリーンセンター特別会計補正予算(第1号)案
 - *歳出 (一般会計繰出金)
 - *歳入 (純繰越金)
 - ・議案第20号 平成29年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について
 - ・議案第21号 平成29年度南信州広域連合南信州広域振興基金特別会計歳入歳出決算認定について
 - ・議案第22号 平成29年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計歳入歳出決算認定について
 - ・議案第23号 平成29年度南信州広域連合稲葉クリーンセンター特別会計歳入歳出決算認定について
- 説明内容確認、質疑なし

(2) コンベンション施設及び屋内体育施設に関する検討について (資料No.2)

- ① これまでの状況報告、主な意見等 **【説明者：高田事務局長】**
- ・大西達也氏 (10/30)
 - *何もせず悔いを残すより前向きに取り組むべき。
 - *改めて意見交換する。
 - ・(株)VC長野クリエイティブスポーツ笹川社長 (10/31)
 - *12月19日の広域連合会議でプレゼンをしていただくことに決定。
 - ・小澤一郎氏 (11/5)
 - *アフターコンベンションの充実が欠かせない。
 - *丘の上との関連性。
 - *空き家等資源の棚卸や民泊も含めて考えていく必要がある。
 - *施設運営のためには、人材を得ることが必要。
 - *地元まちづくり委員会、産業界、建設業界等との情報共有が必要。
 - ・飯田信用金庫理事長、しんきん南信州地域研究所所長 (11/6)
 - *もともと大型複合アリーナを民設民営での発想があった。
 - *施設を行政が設置するのは難しい。
 - *民設民営のスポンサー企業を探す発想の転換も必要。
 - ・上伊那広域連合、伊那市長ほか7市町村理事者、上伊那地域振興局長ほか (11/9)
 - *別紙資料により佐藤副市長から説明。
 - ・経営者協会上伊那・飯田支部懇談会 (11/15)
 - *佐藤副市長が報告。

② 今後の予定 【説明者：高田事務局長】

- ・ 郡市体育協会役員との懇談
- ・ 文化協会との懇談
- ・ (公財) 南信州・飯田産業センターとの懇談
- ・ 商工会議所、商工連
- ・ リニアカフェ (まちづくりを考える高校生サロン)

③ 「リニア駅周辺整備」及び「新施設」の検討状況について 【説明者：佐藤副管理者】

・ 報告内容の概要

- * 「スーパー・メガリージョン」「ナレッジ・リンク」の中で、この地域がどのような存在価値を發揮できるか、という視点で考えている。
- * 伊那谷・南信州全体で「田園型の学術研究都市」を目指す。
- * リニア沿線都市では「コンベンション」を強く意識した構想が進んでいるが、連携と差別化を考え、「長野県らしい・伊那谷らしい」アプローチが必要。
- * リニア効果を伊那谷全体に広く波及させるという「縦」の連携の視点を持ち、リニア駅周辺整備や「新施設」を考えており、飯田市で取り組んでいるリニア駅周辺整備の全体計画・コンセプトについて現状を説明した。
- * 伊那谷らしさでいえば「伝統芸能」は独自性があり、取り上げられれば。
- * コンベンションについては機能が重複しないよう整理する。

→ 説明内容確認、質疑なし

(3) 看護師等確保対策事業について (資料No.3) 【説明者：松江事務局次長】

① 修学生へのメッセージについて

② 信州木曾看護専門学校地域特定推薦の選考結果について

- ・ 推薦者：1名 試験結果：合格

→ 説明内容確認、質疑なし

(4) 行政評価 (事務事業進行管理表) について (資料No.4)

① 事務事業進行管理表について 【説明者：松江事務局次長】

- ・ 行政評価については、事務事業進行管理表で行う。
- ・ 従来の48事業から26事業に整理。
- ・ 最終評価と次年度事業の方向性を確認いただきたい。

② 平成31年度予算編成の日程について 【説明者：松江事務局次長】

- ・ 30事務事業進行管理表→11/16 広域連合会議 (30事務事業進行管理表の判断) →11/30 第2回定例会、全員協議会 (報告)
- ・ 予算編成方針の検討→12/4 正副広域連合長専門部会長会議 (予算編成方針確認) →12/19 広域連合会議 (予算編成方針決定)
- ・ 予算編成 (11月末) →12/11 内示→12/21 副管理者説明→12/27 査定→1/7 正副広域連合長専門部会長会議 (予算案確認) →1/15 広域連合会議 (予算案承認) →2/26 第1回定例会 (予算案審

議)

- ・31 事務事業進行管理表→2/4 正副広域連合長専門部会長会議 (31 事務事業進行管理表) →2/14 広域連合会議 (31 事務事業進行管理表確認) →2/16 全員協議会 (31 事務事業進行管理表確認報告)

③ 評価の目安について 【説明者：松江事務局次長】

・共同事務事業

- A：広域連合が実施すべきもの。又は実施主体について他にも選択肢があるが、広域連合が実施することに効率性や効果の点において十分な合理性があるもの。
- B：当面広域連合が取り組むことが止むを得ないもの。又は優先順位が低いと考えられるもの。あるいは、仕組み・手法の検討が必要なもの。
- C：他に選択肢があり、広域連合が実施することについて検討の必要があるもの。
- D：事業そのものを見直す必要があるもの。

・政策的事業

- A：広域連合が実施する必要があるもの。又は効果が高いと考えられるもの。
- B：広域連合が取り組むことが望ましいが、予算やマンパワーの制約から、限定的な対応とするもの。
- C：当面広域連合が取り組むことが止むを得ないもの。又は優先順位が低いと考えられるもの。あるいは、仕組み・手法の検討が必要なもの。
- D：広域連合で取り組む必要がないもの。

・次年度事業の方向性

- *拡大、現状維持、縮小、統合、休止廃止、完了で判断。

④ 補足 【説明者：高田事務局長】

- ・このやり方で本日、首長の皆さんの評価をいただき議会にお示しをしたい。
- ・次年度以降の方向性を持って、新年度予算を編成した後に改めて新年度の管理表を作成し動いていく。

⑤ 26 事業の詳細について 【説明者：各事業担当者】

・議会運営業務について

- *30 年度の取組状況を説明
- *課題として 14 市町村の議員のスケジュール調整に苦慮。議会事務局が設置されていないことから、議員の改選時期が重なった場合等、適切な事務手続きが滞らないよう注意が必要。
- *評価区分：共同事務事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・道路整備等促進広域連携事業

- *昨年度までの国道整備改良促進事業、高速交通網利用整備促進事業等、4つの事務事業を1つに統合。
- *課題として下伊那土木振興会との事務処理の重複。
- *評価区分：政策的事業 最終評価：C 次年度事業の方向性：統合

・リニアの時代を見据えた地域づくり推進事業

- *30 年度の取組状況を説明

- *課題としてコンセプトの整理に時間を掛け議論を深めたことから、当初のスケジュールより若干遅れることになったが、基本的な考え方をしっかりと地固めし、この考え方を31年度の本格的な議論に繋げていくことが重要。
 - *評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：拡大
- マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト事業
 - *30年度の取組状況を説明
 - *課題として民間事業者の協力及びネットワークづくりが必要。民間主体の事業へ移行していくための事業計画及びロードマップの作成も必要。
 - *評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：縮小
- 民俗芸能保存継承プロジェクト事業
 - *30年度の取組状況を説明
 - *課題として、集落の高齢化と人口減少の影響により民俗芸能の継承が困難になりつつある地域が増加している。
 - *評価区分：政策的事業 最終評価：C 次年度事業の方向性：統合
- 景観形成プロジェクト事業
 - *30年度の取組状況を説明
 - *課題として市町村の景観に対する取組に差異があるため、関心の高い市町村と進めていく方向性が最適と考える。
 - *評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：拡大
- 南信州移住促進プロジェクト事業
 - *30年度の取組状況を説明
 - *課題として南信州の知名度の低さ、市町村担当者の対応力の向上、移住に特化した情報発信サイトの構築。
 - *評価区分：政策的事業 最終評価：C 次年度事業の方向性：現状維持
- ICT環境整備利活用研究プロジェクト事業
 - *30年度の取組状況を説明
 - *課題として市町村の自営ケーブルテレビ伝送路の老朽化により、早急に更新が必要な状況、ICT利活用については積極的に地域内で取り入れ、課題解決や住民サービスの向上に努める必要がある。
 - *評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持
- 広域観光リニアプロジェクト推進事業
 - *30年度の取組状況を説明
 - *課題として観光公社が地域連携DMOとして登録された際には、その役割分担の検討と、持続可能な取組ができるような協力体制の検討が必要である。
 - *評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持
- 産業振興と人材育成の拠点事業
 - *30年度の取組状況を説明
 - *課題として共有開始後の指定管理者に(公財)南信州・飯田産業センターを予定しているが、

その協定内容の精査が必要。寄附講座としての信州大学の共同研究講座は平成 32 年までであり、その後の検討が必要。

*評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・地域公共交通事業

*30 年度の取組状況を説明

*課題として担当者会議の参加率は 5 割程度で市町村による公共交通への取組の差が見受けられる。また、運転手の高齢化や担い手不足が深刻な状況となっている。

*評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：拡大

・介護認定審査会事務

*事業目的について説明

*課題として平成 31 年度より審査員が改選となるため、年度末にはスムーズな体制の確立と審査会が一定のレベルを保つように研修会の実施を行う必要がある。

*評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・老人ホーム入所連絡事務

*事業目的について説明

*課題として飯田市の特養待機者が増加しており、飯田市と共に分析を行った。特養の受け入れ態勢が整わず、空床になってもスムーズな紹介ができていない。

*評価区分：共同事務事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・在宅医療・介護連携推進事業

*事業目的について説明

*課題として、介護人材確保についてワーキンググループ会議で課題の改善策を検討し、必要に応じて修学金等の制度の制定を行う必要がある。

*評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・市町村審査会（障害支援区分認定）事務

*事業目的について説明

*課題として件数が少ないため、期限間際での手続きや市町村担当者の知識不足が問題であり、研修等により処理の質を保つよう研修を行っていく必要がある。

*評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・障がい者相談支援事業

*事業目的について説明

*課題として自立支援協議会もより専門的な協議を行えるように支援センターへ事務局を移行し、スムーズな運営ができるよう体制を整えている。

*評価区分：共同事務事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・飯田下伊那診療情報連携システム [ism-Link] 運営

*事業目的について説明

*課題として平成 32 年度のシステム更新に向け、歯科と薬局代表にも加わっていただき、多職種連携が進むように協議を行う必要がある。

*評価区分：政策的事業 最終評価：C 次年度事業の方向性：現状維持

・看護師等確保対策修学資金事業

*事業目的について説明

*課題として 20 名の修学生へのサポートを医師会及び看護協会と連携しながら情報提供を行っていく。3年ごとの見直しの年でもあるため、内容についても検討が必要。

*評価区分：政策的事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・ごみ中間処理施設運営管理事業

*30 年度の取組状況を説明

*課題としてごみの搬入量がごみ処理基本計画に基づいた計画値よりも増加傾向にあり、プラスチック類等が新たに受入品目の対象となったことに加え、他のごみについても搬入量が増加している。そのため、焼却炉の点検整備期間に余裕が持てない状況が発生しつつある。また、焼却灰等の残渣処分についても同様に増加傾向にあり、処理費用の増加が懸念される。

*評価区分：共同事務事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・飯田竜水園運営管理事業

*施設における現状を説明

*課題として構成市町村において、農業集落排水施設の改修工事や公共下水道への統合などにより、一時的に搬入量が増加することが想定され、各市町村担当者と綿密な搬入計画をたてながら環境影響に十分配慮し安全な運転に努める必要がある。

*評価区分：共同事務事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

・リサイクルセンター運営管理事業

*事業概要について説明

*課題として利用者が減少している。報道関係等を活用し利用者増を図る必要がある。また桐林クリーンセンター閉鎖後は小学校の見学が減少している。循環型社会形成の推進を図るにあたり、委託先も含め新たな環境講座の開設や視察者増を模索していく必要がある。

*評価区分：政策的事業 最終評価：C 次年度事業の方向性：現状維持

・広域振興事業

*昨年度までの、地域課題調査研究事業、セカンドスクール事業、いむす21の啓発事業を統合したもの。いずれも広域的な地域課題を調査研究して、圏域の政策へ反映することを目的としている。

*評価区分：政策的事業 最終評価：C 次年度事業の方向性：現状維持

・広域観光振興事業

*南信州ナビの管理運営事業、総合パンフレット整備事業、気象アドバイザー設置事業、首都圏・中京都市圏観光PR事業、伊那路・木曾路広域観光連携事業、三遠南信・伊勢志摩広域観光連携事業、南信州観光連携プロジェクト会議支援事業の7事業を統合したもの。

*課題として当地域には、14市町村全体をプロデュースする観光連盟のような組織がなかったため、広域連合がその役割を担ってきたが、今後、南信州観光公社が地域連携DMOになった際には広域観光の中心組織となるよう、これらの事業を整理し地域連携DMOの支援を行う必要がある。

*評価区分：政策的事業 最終評価：C 次年度事業の方向性：縮小

・消防一般管理事務 ・常備消防の充実事業 ・消防施設整備事業

*人材育成として職員派遣を継続し、救命率及び災害対応能力の向上に努める。また大規模災害に備え受援体制及び市町村との連携を図っていく。

*消防力の適正配置調査（高森消防署の庁舎に係る調査研究）。

*施設等の維持管理、車両等の整備。

*評価区分：共同事務事業 最終評価：A 次年度事業の方向性：現状維持

(主な意見)

- ・豊丘村 マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト事業に関して、ダーチャについて豊丘村でも取組をしているが、とあるベンチャー企業がJTBと組んで企業のふるさと納税を利用して地方の農業を守るという取組を、ダーチャにかなり似た認識でやりたいということで昨日豊丘村を訪れていただいた。広域連合事務局にも説明を依頼した。評価は「C」で「縮小」であるが前向きにやっていただきたい。
- ・事務局長 「C」と評価させていただいたのは、事業の取り組む仕組み及び手法、広域連合、市町村、事業者の役割を整理したいという思いがあった。企業版ふるさと納税の対象は市町村。一義的に広域連合という訳にはいかないと思うが、是非お話を聞かせて欲しい。
- ・阿智村 民俗芸能保存継承プロジェクト事業の最終評価が「C」となっているが、現在も良い取組をされていてこれからも大事になってくる。「A」が良いのではないかな。
もう一点、飯田竜水園について西南部のし尿処理施設が老朽化している。10年後くらいを目途に広域の中で一緒に施設をお願い出来れば。
- ・事務局長 民俗芸能保存継承プロジェクト事業については、事業の方向性や狙いは非常に大事な部分。この協議会の事務局が広域連合としてあるが、事務局に民俗芸能に関する知見や文化的価値についてどこまでの責任が持てるのかは心配。事業の大切さはわかるが、その部分を単に広域連合という訳ではなく美術博物館の学芸員さんや民俗芸能を頑張ってくださいっている人達と一緒に、どう事務局を作りどう事業を進めていくかを考えていかなければ、この事業の方向性が心配という面で「C」とした。
西南部のし尿処理については、どういう場で議論するかを含めて検討が必要。竜水園自体も老朽化する。将来的に広域連合で全部まとめてやるのか、或いは市町村に戻すのか検討が必要。
- ・高森町 事務事業レベルで各市町村長が集まり評価をする方法はどうか。分野別くらいにまとめていただきたい。26事業をその日のうちにどう評価していいのかも分からない。ご検討をお願いしたい。
- ・事務局長 資料No.4の右側に部会と書いてあるが、本来ならば部会で議論いただき評価の方向性を出したうえでその方向性を議論いただくのが筋と考えるが、出来上がりもつい先日であり、進め方も含めて過渡期ということでご理解いただきたい。広域連合の事務事業を最終的に評価するのはこの会議と思っている。二次評価、三次評価をどう進めて次年度へ繋げていくかといった仕組み作りはしていかなければならない。
- ・阿南町 リサイクルセンターの運営管理について、幼少期からの教育は非常に重要であり下伊那中の学校をここで学ばせるように取り組んではどうか。
- ・事務局長 事務事業進行管理表において評価区分が共同事務事業とあるが、政策的事業と捉えている。市町村がリサイクルにどう取り組むかということがまずあり、それが本当に共同でやることであれば共同事務事業だが今のままで良いかを含めて「C」とした。子供たち

の力も大切。その仕組みのなかでリサイクルセンターがどうあるべきかは考えていく必要がある。

- ・下條村 移住促進プロジェクト事業について、最終評価「C」となっているが、人口減少、少子化の中で継続していくべきと考えるが、「C」とした理由をお伺いしたい。
- ・事務局長 県、市町村、観光公社等の連携と役割分担を明確化し、実施体制を構築していく必要があることから「C」とさせていただいた。
- ・連合長 何か気づくこと等あれば事務局まで連絡いただきたい。

(5) 「南信州民俗芸能パートナー企業制度」新規協定締結について（資料No.5）【説明者：櫻井広域振興係長】

- ① 協定締結予定企業・団体 10 企業
 - ② 協定締結・登録証交付式（第7回）の日程
 - ・日時：平成30年11月19日（月）午前11時15分から12時00分まで 場所：県合同庁舎講堂
- 説明内容確認、質疑なし

(6) 後援依頼について（資料No.6）【説明者：加藤庶務係長】

- ① みんなで築く「南信州の観光地域づくり」講演会とシンポジウム（第1ステージ）
日時：11月29日（木） 場所：シルクプラザ
 - ② ワークショップ（第2ステージ） 日時：1月～2月 場所：未定
- 異議なし、承認

(7) 南信州地域振興局から

- ① しあわせ信州移動知事室について
 - ② かぶちゃん農園ほか関連会社の破綻について
 - ③ 保護者向け就活セミナーについて 日時：12月1日（土）9：30～12：00 場所：飯田産業センター
 - ④ 元気づくり支援金について
- 説明内容確認、質疑なし

(8) 飯田建設事務所から

→ 報告事項なし

(9) 飯田保健福祉事務所から

→ 報告事項なし

4 今後の日程について

- | | | |
|-----------|----------------------------|-------|
| 11月19日（月） | 南信州民俗芸能パートナー企業制度の新規協定締結式 | 11：15 |
| 11月29日（木） | JR飯田線活性化期成同盟会による要望活動（名古屋市） | 10：00 |
| 11月30日（金） | 南信州広域連合議会第2回定例会、全員協議会 | 10：00 |
| 12月19日（水） | 広域連合会議 | |

5 閉会…16：50